

私たちは、いつ故郷に帰れるのでしょうか

福島県南相馬市から避難、木戸在住の青田さん



「わたしは、このように、家具もすべて使ってよいというお宅を借りて、日々不自由なく暮らしている。私たち家族を温かく支えてくださっているみなさんに心から感謝しています」と青田さん。(8/3岸本市議と)



こんにちは

岸本のり子です

発行 日本共産党

連絡先 大津湖西地区委員会

日本共産党大津市会議員

岸本のり子

大津市和邇春日2丁目

ケイタイ 0803111638877

2011. 8/ 14
106

日本共産党

原発の脅威から

生命とびわ湖を守ろう

8月2日、福島県内で定期点検中の関西電力の原発7基の再稼働差し止めを求め、住民168人が大津地裁に仮処分申請を行いました。

青田さん

「原発やめて」の運動、40年

再稼働禁止を求める訴訟団の1人として名を連ねた、青田勝彦さんを岸本市議が訪ねました。

青田さんは現在、福島県南相馬市から友人を頼って、自主避難し、木戸の民家に仮住まいされています。

福島県では1971年に住民に明らかにされないまま、原発1号機を建設。さらに1973年、2号機建設計画を発表。

以来、職場の仲間や地域の人たちと「原発やめよ」の運動を続け、差し止めを求めて最高裁までたたかった人です。

青田さんたちは、最高裁で棄却されてからも東京電力に「高波対策」なども申し入れてきましたが、国も東京電力も聞く耳をもたず「安全神話」にしがみついていたのです。

3月11日、戦後最悪の大震災と原発事故が起こった

そして、3月11日の震災で青田さんたちの最も恐れていたことが起こったのです。

今、青田さんは、「福島を繰り返し返さないで」との思いで滋賀県の原告団に加わったのです

ふるさとに帰りたい！ 青田さんのこの言葉に胸が痛みました

岸本のり子

青田さんとお話して、40年にわたる不屈のたたかいに頭がさがりました。

そして青田さんは最後に

「私たち家族は、日々みなさんの支援に感謝しています。でも、時々私たちはいつふるさとに帰れるのだろうか。この思いが重くのしかかるのです」と……

今、日本は大震災と原発事故という危機のさなかにあります。

力あわせて、復興へ！

そして原発ゼロへ！

がんばることが、青田

さんの思いに少しでも

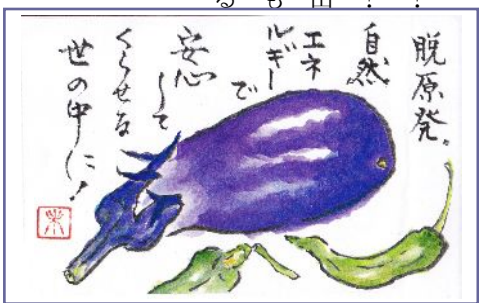
応えていくことになる

と、私はあらためて

決意しました。

絵手紙 大物

田中未年子さんの作品↓





志賀の平和委員会による平和展



今年で5回目
志賀9条の会ピースキャンドル
8/6 夕方・小野駅



絵手紙 大物・田中未年子さんの作品

復興を・原発ゼロを・平和憲法を

……この夏多彩な行事が……



ふしき事務所主催
復興支援バザー 7/30



来年度から使用される中学校教科書が採択されます。
「太平洋戦争は白人支配からアジア諸国民を解放した。」と戦争を賛美し、また、原子力発電を推進するなど、「つくる会」系教科書(自由社、育鵬社)の採択を許すかが問われます。

多くのみなさんの傍聴を…

8月29日(月)2時～ 市役所 新館 7F

どなたか足踏みマシンゆずっていただけませんか?
岸本のり子ケイタイへご連絡を!